

作成日 2007年 3月 7日

改訂日 2017年 7月 13日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名	電解液 S-208
会社名	株式会社 中央製作所
住 所	名古屋市瑞穂区内浜町24番1号
担当部署	研究開発部
電話番号	052-821-6196 F A X 052-823-2796
整理番号	S - 2 0 8

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

##### 物理化学的危険性

引火性液体	: 区分外
自然発火性液体	: 区分外
自己発熱性化学品	: 区分外
水反応可燃性化学品	: 区分外
酸化性液体	: 区分外

##### 健康に対する有害性

発がん性	: 区分外
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: 区分3 (気道刺激性)
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: 区分2

##### 環境に対する有害性

水生毒性 (急性)	: 区分3
水生毒性 (慢性)	: 区分3

#### 絵表示またはシンボル



#### 注意喚起語

: 危険

#### 危険有害性情報

: 人体に対して有害

誤飲すれば口、喉、胃が刺激され悪心、嘔吐などを起こす

呼吸器への刺激のおそれ

長期または反復暴露による骨、歯の障害のおそれ  
水生生物に有害

長期的影響により水生生物に有害

#### 注意書き

##### 安全対策

: 粉じん、ミスト、蒸気などを吸入しない。

換気の良い場所でのみ使用する。

環境への放出を避ける。

##### 救急処置

: 吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸し  
やすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師  
の処置を受ける。皮膚に付着した場合は、汚染された衣類および付  
着物を取り除く。皮膚を流水で洗う。気分が悪い  
時は、医師の処置を受ける。

保管	: 容器は密閉して換気の良い場所で保管する。 施錠して保管する。
廃棄	: 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

## 3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名 (又は一般名)	ふっ化アンモニウム水溶液
成分及び含有量	ふっ化アンモニウム 24%      水 76%
化学特性 (化学式)	NH <sub>4</sub> F      H <sub>2</sub> O
官報公示整理番号	1-311 (化審法: 正式名称「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」)
C A S No.	12125-01-8
毒劇法	非該当
P R T R 法	非該当

## 4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し, 鼻をかませ, うがいをさせる。  
皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。  
眼に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗い流す。

飲み込んだ場合 : 多量の水または牛乳を飲ませてはかせ, 医師の処置を受ける。  
応急処置する者の保護 : 救助者はゴム手袋と保護メガネなどの保護具を着用する。

## 5. 火災時の措置

消火剤 : この製品自体は燃焼しない。  
使ってはならない消火剤 : 特になし  
特定の消火方法 : ふっ化アンモニウム自体は不燃性であるが, 周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す。  
移動不可能な場合は, 容器及び周囲に散水して冷却する。  
消火を行う者の保護 : 保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 必要に応じて保護具を着用する。  
環境に対する注意事項 : 河川, 湖沼に直接流入させない。  
除去方法 : 漏洩物をできる限り容器に回収し, 漏洩した場所は水酸化カルシウム, 炭酸ナトリウムなどの水溶液を用いて処理し, 大量の水で洗い流す。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 皮膚等に付着させないように注意する。  
保管 : 容器 (ポリエチレン, ポリプロピレンなど) は密栓して冷暗所に保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱い場所近くに, 手洗い, 洗顔設備を設け, その位置を明示する。  
管理濃度 : 設定されていない。  
許容濃度 日本産業衛生学会 (2009 年度版)

：設定されていない。

ACGIH (2009年度版) 2.5 mg/m<sup>3</sup> (ふっ素として)

#### 保護具

呼吸器用の保護具 : 必要ならば防塵マスクを着用する。  
 手の保護具 : 必要ならば保護手袋を着用する。  
 眼の保護具 : 必要ならば保護眼鏡を着用する。

### 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的状态

形状 : 液体  
 色 : 無色  
 臭い : アンモニア臭  
 pH : 8.5

#### 物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 : 100℃  
 引火点 : なし

#### 爆発特性

爆発限界 : 爆発しない。

密度 : 1.18

溶媒に対する溶解性 : エタノールに微溶, アセトンに不溶である。

### 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の使用においては安定である。

反応性 : 酸類と接触すると, 分解して腐食性の強いふっ化水素ガスを生じる。

避けるべき条件 : 熱, 酸との接触

避けるべき材料 : ガラス

危険有害な分解生成物 : ふっ化水素, ふっ化水素アンモニウム

### 11. 有害性情報

急性毒性 : 経口摂取すると, 口, のど, 胃が刺激される。

局所効果 (皮膚, 眼など) : 結晶化した粉塵を吸入すると鼻, のど, 気管が刺激される。

眼に入ると眼が刺激され, 炎症を起こすことがある。

慢性毒性・長期毒性 : データなし

がん原性 : データなし

変異原性 : データなし

催奇形性 : データなし

生殖毒性 : データなし

### 12. 環境影響情報

移動性 : データなし

残留性/分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

#### 生体毒性

魚毒性 : 小エビ LC50=75.3 mg/l

13. 廃棄上の注意 : 多量の水酸化カルシウム水溶液に少量ずつ加えて, ふっ化カルシウムの沈殿を生成させ, 沈殿はろ過する。ろ液はpH調整した後, 下水に流す。沈殿物は産業廃棄物として処理する。  
 空容器は水洗いした後, 産業廃棄物として処理する。

14. 輸送上の注意：輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積込み、荷くずれ防止を確実に行う。

国連分類：結晶はクラス6.1（毒物）等級Ⅲ

国内規制：15項

15. 適用法令

消防法：非該当

労働安全衛生法：施行令第18条の2名称等を通知すべき有害物

水質汚濁防止法：施行令第2条有害物質

土壌汚染対策法：施行令第2条特定有害物質

船舶安全法：危規則第3条危険物告示別表第1毒物類

航空法：施行規則第194条危険物告示別表第1毒物類

16. その他の情報

引用文献

① 化学大辞典 共立出版社（1963）

② Dangerous Properties of Industrial Materials, 6th ed N. I. Sax 他編  
Van Nostrand Reinhold Company（1984）

③ 14906の化学商品 化学工業日報社（2004）

\* この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意してください。

また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。